

JRNC NETWORK



Vol. 37

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
2023 JAN



JR津和野駅 全景



JR津和野駅 外観



JR津和野駅 回廊



CONTENTS

2 巻頭言「3つ」で考える

取締役兼執行役員 計画本部長 兼 計画部長 山本 信弘

3 プロジェクトレポート

JR津和野駅(津和野街並み観光交流センター)

4 京都舞鶴再エネフェス

6 Pick up News

西九州新幹線(武雄温泉～長崎)感謝状受賞

7 チャレンジデイに出展しました!

裏表紙 育休のお知らせ

Congratulations!

企業倫理相談室・社外相談窓口(公益通報窓口)への
相談・連絡方法

JR津和野駅(津和野街並み観光交流センター)



外観

はじめに

昨年、開通100年を迎えたJR山口線の新山口～津和野駅間。その記念の年に「山陰の小京都津和野の玄関口となるJR津和野駅」が「津和野街並み観光交流センター」として生まれ変わりました。津和野町が総事業費約7億8,100万円(津和野町発表による関連事業費共)で改修し、駅舎をリニューアルしました。

駅舎デザイン

島根県産の杉や石州瓦を使った新駅舎には観光案内所や冷暖房が備わった待合室など、床や壁に木材を使った温かみのあるデザインとなっています。

今回新たに設けられたのが展望デッキ。鉄道ファンに人気の機関車と客車の連結作業などを俯瞰で見ることができます。「山口線は架線がないからいい。列車が見やすいです」と鉄道ファンからの声をいただいています。また、広場に設置のSLも俯瞰できます。

構内の松の木を伐採して、構内柱を移設する計画などJR西日本にも景観に配慮したご協力をいただきました。

森鷗外が生きた150年前から変わらない山並みや歴史と文化が息づくレトロな街並み、そこに溶け込む玄関口としての駅舎は「重要無形民俗文化財の鷲舞」をモチーフとした内装天井や、現代のマスコットキャラクター「つわみん」をあしらった小物など、訪れた方をその雰囲気の中に誘う装置をちりばめています。

事業概要

整備目的

津和野町の玄関口として、住民や観光客が安全・快適な利用ができるようJR西日本と津和野町が連携し、JR津和野駅の駅舎の改修を行いました。

町営駐車場の再整備及び駅舎との動線の円滑化を図るなど、駅周辺及び駅前広場を再整備し利便性やシンボル性を高め、出会いと交流、賑わいの創出を図ることを目的としています。

整備手法

- 都市再生整備事業(社会資本整備総合交付金)補助率=4.5/10^(注1)
(注1) 歴史的風致維持向上計画策定により国比率拡充(通常4/10)
- 過疎地域自立促進事業(過疎債) 充当率=100%^(注2)
(注2) 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に定める指定地域

整備内容(都市再生整備事業のうち駅舎関係)

【基幹事業】街並み観光交流センター、多目的トイレ、2階展望テラス

【提案事業】JR津和野駅舎整備 ※既設駅舎構造耐震補強工事を含む
(建築設計本部 建築設計部 広橋 仁)



アプローチ



展望デッキ



観光案内所 兼 切符販売所